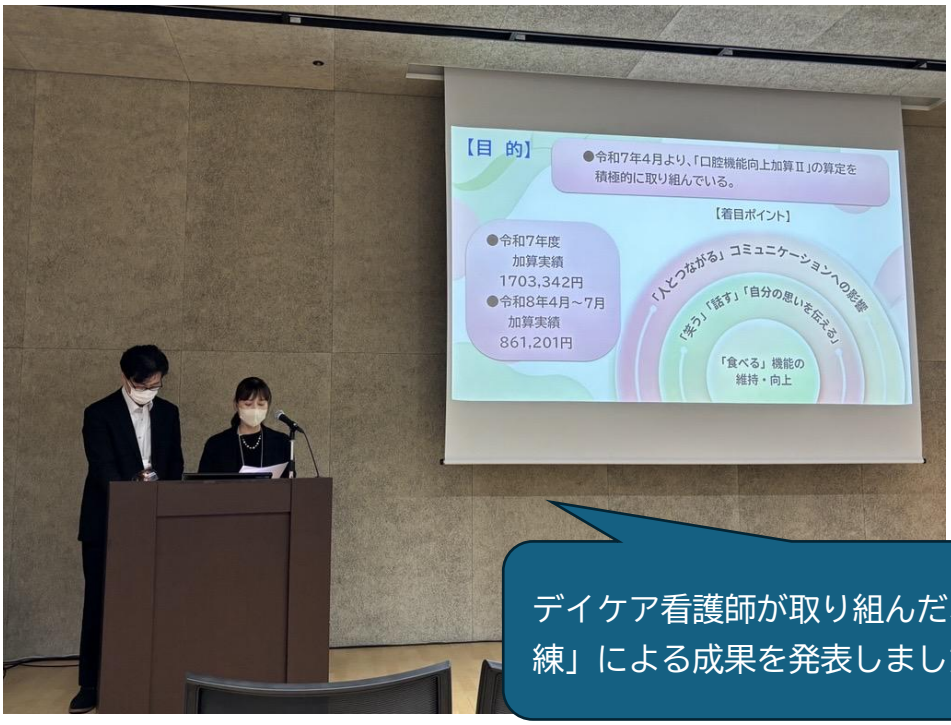
第37回全国介護老人保健施設大会宇都宮　カトレア演題発表3題

2026年10月22日(木)

1.「自分らしく笑顔で過ごせる生活をめざして
～口腔機能訓練から広がるデイケアの可能性～」
発表者　通所リハ室長　通所リハ介護主任



デイケア看護師が取り組んだ、「口腔機能訓練」による成果を発表しました。

2.　「動く喜び応援の力誰１人欠かせない歩け歩けタイム
～頑張らない競わない自分のペースで心地よく歩こう～」
発表者　入所介護士　入所看護師



3階フロアで毎日取り組んでいる「歩け歩けタイム」の様子を発表しました。

3.　「COPM を用いて作業に着目し畑作業再開に至った事例」
　　発表者　作業療法士



COPM（カナダ作業遂行測定）とは、本人が日常生活で困っていることや、できるようになりたいことを聞き取り、その重要度や、どの程度できているか、どれくらい満足しているかを 1～10 点で評価する方法です。

こうした演題は、日頃カトレアにおいて、各部署で行われているケアに関して、テーマを絞り、10 枚のスライドにまとめて発表いたしました。
時間制限もあり、また質問も会場から出たりして、発表者はドキドキしながら、登壇いたします。

自分たちの発表だけでなく、他の施設の発表も聴き、大いに刺激を受けて帰ってきました。

今回カトレアでは 10 人の職員、法人全体でも約 30 名の職員が、この大会に参加いたしました。
集合写真を撮っていてもその人数の多さに、他施設の方たちから驚かれました。

参加した職員は、職種も違いますが、それぞれの立場で、講演会やシンポジウム、他施設の演題発表を聴いてきました。
この多くの学びを、各部署において、今後のご利用者へのケア・業務に活かしていきたいと思います。